

中国遊商 令和4年度の「臨時総会」を開催

中国遊技機商業協同組合(山本基庚理事長)では8月18日、広島市内ANAクラウンプラザホテル広島において、令和4年度の臨時総会を開催した。

総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場とリモート出席の組合員各位をつなぐ、ハイブリッド方式とした。(写真2参照)

組合員60名中、出席54名、委任状2名の計56名の出席により、赤石政美理事の開会のことばに続き、山本理事長は、今なお続いている新型コロナウイルス感染症の第7波の影響を受け懇親会中止で総会のみとなったことに対しお詫びの言葉を述べ、今回の議案は中古流通健全化に関する全商協規約の一部改正施行に伴う組合規約の改正であるが、警察庁指導のもとに現在組合事業で実施している取扱主任者対象試験の全国一律化をはじめ、遊技機を取扱う販売業者や取扱主任者の技術の向上、責任の所在、地位の確保などの明文化、新たな試験官制度の導入など多岐にわたる事項が制定されている。これまでの話を聞かれると大変厳しくなった印象を持たれると思うが、当組合においては真面目に中古流通事業を営まれている組合員ばかりであり、何ら現状と変わらず、組合員の皆様、その所属の取扱主任者や社員を守るための改正であることをご理解いただき、慎重、審議をお願いしたい旨の挨拶が行なわれた。(写真1参照)

その後、議長の山野法行理事の司会進行のもと、事業総務委員長である二上創一理事から、規約改正に至る経緯や内容が縷々説明され、本議案は可決承認された。

結びに中田裕二理事からの閉会のことばにより総会を終えた。

写真1 (挨拶～山本基庚理事長)



写真2 (ハイブリッド併用総会風景)

